

15 水土里情報システム

水土里情報システムは、農地等に特化したクラウド型地理情報システムとして、県内の全ての農業関係機関・団体が共通で利用できる唯一の地図システムです。

土地改良施設の管理をはじめ、農業関連の業務の効率化を目的として平成 22 年に整備され、水土里ネットいわてがカスタマイズしながら管理運営しています。

このシステムは、航空・衛星写真や公図のほか、地形図や農業農村整備事業の履歴など、さまざまな地図を組み合わせて図面を作成できます。

また、多面的機能支払や経営所得安定対策などの現地確認業務を支援する現地確認用タブレットを提供しています。

3 つの特長

- 1 共有地図
- 2 図面作成
- 3 現地確認用タブレット

現地確認用タブレット(オプション)

水土里情報システムの地図情報を利用
データ通信・GPS・カメラ搭載

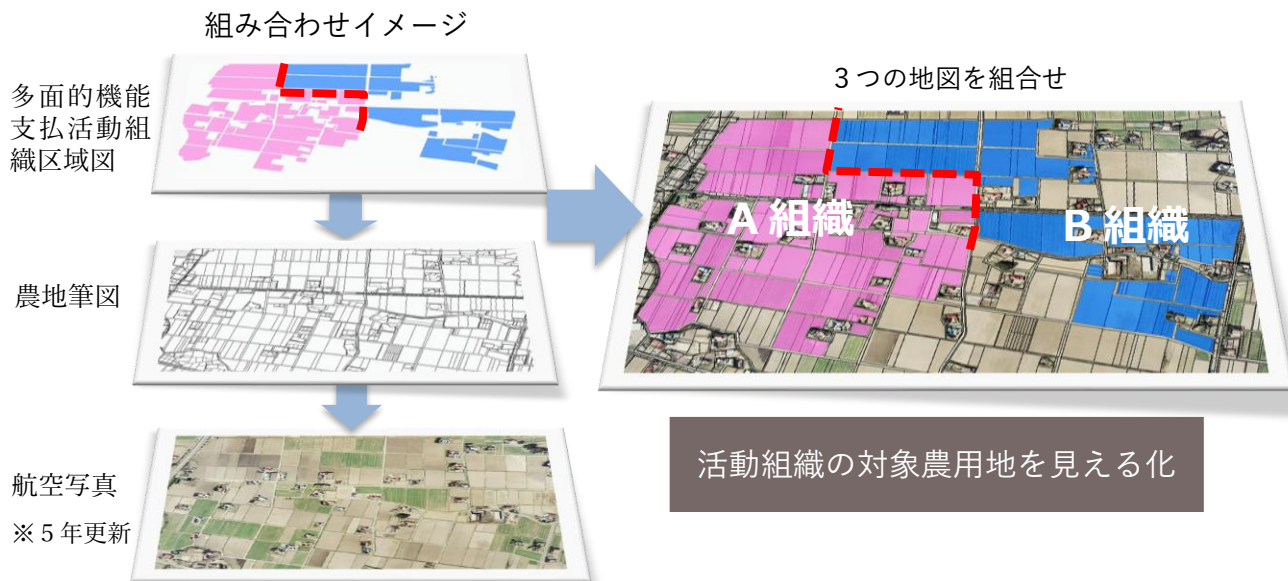


水土里情報システム(地理情報システム)



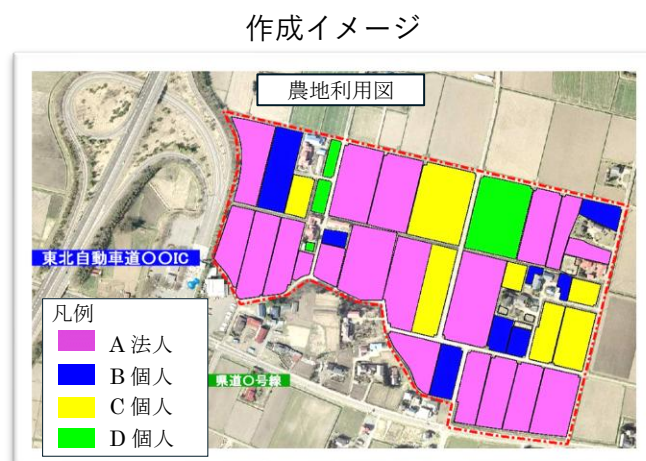
共有地図(配管図を表示)

(1) 「共有地図」 様々な共有地図を組み合わせて利用可能に！



(2) 「図面作成」 自由に地図を編集して図面を作成！

- 図面作成例
- ①地域計画策定に必要な目標地図
 - ②農地耕作条件改善事業農地利用図
(事業実施前後、機構活用)
 - ③多面的機能支払活動組織区域図
 - ④現地調査図(転作確認、荒廃農地、損害評価)
 - ⑤農地中間管理事業転貸農地位置図
 - ⑥災害被災箇所位置図
 - ⑦農業水利施設位置図(維持管理計画書添付図)
 - ⑧事業地区位置図など



(3) 「現地確認用タブレット」 効率的な現地調査を実現するタブレット！

広域で土地勘がない地域でも安心です。(GPS と地番検索で目的地を表示)



活用できる現地確認業務

多面的機能支払、経営所得安定対策(転作確認)、荒廃農地調査、災害被災調査、中山間直接支払、農業水利施設維持管理など

(4) 活用イメージ 耕作者ごとに瞬時に色分け！タブレットで農地を特定！

Excel の一覧表を地図に取込み

所在地	耕作者名	区分	今後の経営意向
A字10-1	法人A	中心経営体	規模拡大
A字10-2	法人A	中心経営体	規模拡大
A字10-3	個人B	出し手	現状維持
B字11	法人A	中心経営体	規模拡大
C字12-1	個人C	出し手	離農
C字12-2	法人A	中心経営体	規模拡大
C字12-3	個人C	出し手	離農

取込み後
色分け

農地利用図<耕作者名で色分け>



多面的機能支払制度の現地確認<組織で検索>



離農する個人C（出し手）の農地を
法人A（受け手）に利用調整

組織が隣接した地域でも対象の農地を確認可能
（現在地の北側が A 組織、南側が B 組織）

(5) 農業法人向けシステム(機能限定版) 農地の利用拡大をサポート！

農業用地図に、営農情報（作物の種類、施肥や防除などの作業内容等）を記録して農地の利用状況を管理できるほか、地図を自由に印刷することができます。

水土里情報システム機能限定版（農業用地図）



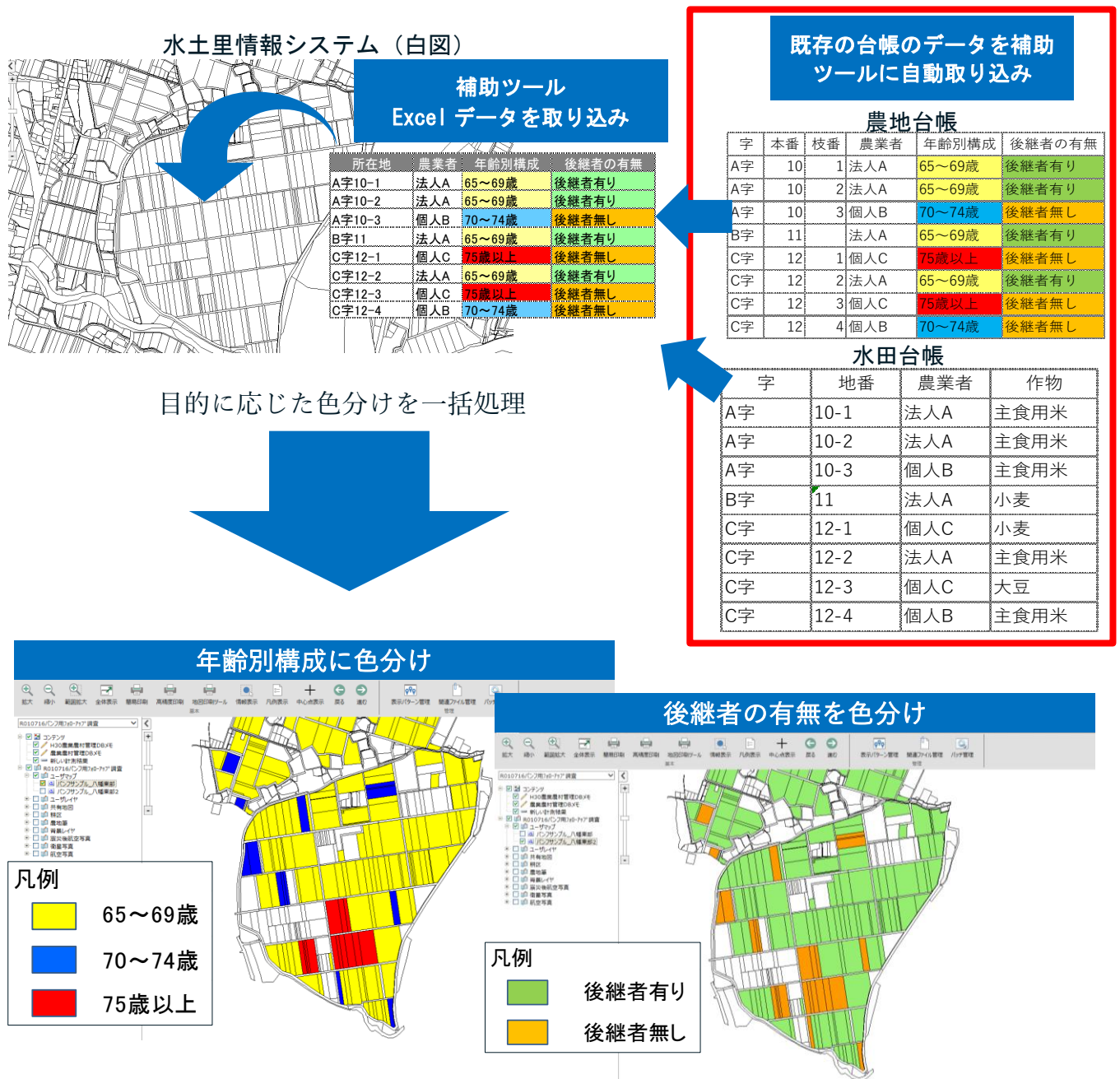
「どこで」「誰が」利用しているか明らかに！

「経営農地の管理の省力化」「肥培管理や防除の効率化」
などの課題を解決します！

(6) 水土里情報システム活用事例

地域計画策定に必要な「目標地図の作成」に活用

Excel で整理したデータを取り込んで、筆ごとの色分けが可能！



農地のデータを地図に落とし込む「農地利用の地図化」にあたって必要な筆ごとの着色を一括で処理できます。

水土里情報システムについて、お気軽にご相談ください。

【 水土里情報推進課：TEL 019-631-3205】